



太鼓を胸に、矢旗(4m)を背負い跳び上がりながら踊る。

武士装束の踊り手が 勇壮に踊る秋の大祭

社伝によれば、島津家初代当主忠久が建保6(1218)年に建立したといわれる花尾神社。豊かな緑林の中にひととき存在感を放つ朱塗りの社殿には、格子天井に描かれた草花の絵や彫刻が飾られ、別名「さつま日光」とも称されています。

例年秋の大祭の中で披露される花尾の太鼓踊りは、16世紀末に島津義弘が朝鮮出兵の折、軍の士気を鼓舞するために打ち鳴らさせたという鉦かねと太鼓の旋律に、のちに踊りが振付けられ、今のようになつたと伝えられています。踊り手は、花尾地区の氏子から選出された壮年・青年および小中学生で構成され、武将に見立てた鉦打ちを、兵士の太鼓打ちが囲む形で踊ります。踊りは、参道から境内へと進みな



【鹿児島市】

花尾の太鼓踊り

市指定無形民俗文化財

秋の訪れを告げる
花尾神社の伝統行事
「花尾の太鼓踊り」を
ご紹介します。



きらびやかな天井画や装飾が美しい朱塗りの社殿

から「道行き」「庭踊り」「鉦踊り」の3部構成で演じられ、楽曲は二十余曲からなります。衣装や道具が色鮮やかで、太鼓打ちは兜かぶとを被り、上は白衣に脚は緋あか、わらぞうり、胸に太鼓、背に約4メートルの矢旗をつけて両手にばちを持って跳び上がって踊ります。帯に響き渡る鉦と太鼓の響きとともに勇壮な踊りが最高潮を迎えると、場内は拍手と大歓声に包まれます。

平成17年に、祭りの伝統的な価値が認められ、鹿児島市の無形民俗文化財に指定されました。

祭りの舞台

花尾神社

開催日： 2019年9月23日(月・祝)
花尾神社秋の大祭
住所： 鹿児島市花尾町4193
駐車場： 50台(無料)
TEL： 099-298-7669
(花尾神社社務所)

